

2024年8月23日
 8:45
 大会事務局

公式通知 No.10

2024 MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズ 第5戦 プリーフィング資料の改定

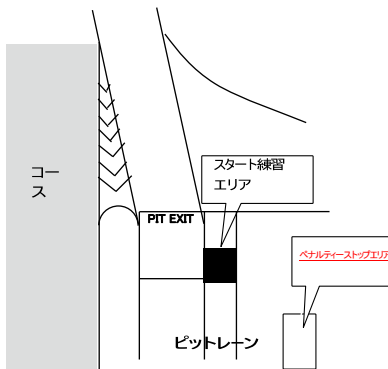
1. コースイン、ピットイン時の注意事項

- 1) コースインの際に、ピットレーン出口から第1コーナーに引かれているライン(白線)を跨いで走行しないようご注意ください。
ラインを跨いで走行した場合、罰則を科すことがあります。
- 2) ピットレーンの制限速度は60km/hです。ピットレーンの安全確保のため遵守してください。
- 3) 公式予選、ウォームアップ走行共に、**各走行開始10分前にピットレーンへの整列ができます。**
また、ピット走行レーンで待機する場合は、スタンドを掛たり、タイヤウォーマーを装着することを禁止します。
ライダーは乗車しすぐに出走できる体勢にしてください。

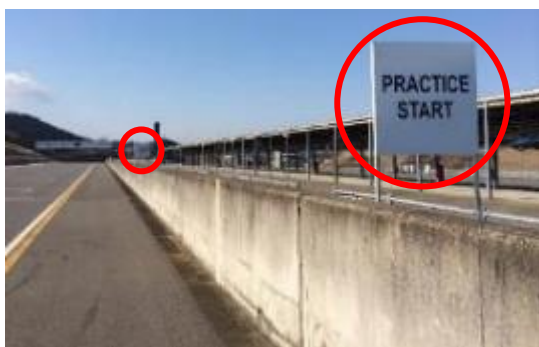
2. 走行時及びピット作業時の注意事項

- 1) スタート練習場所は以下の通りとします。スタート練習を行うときは後方の安全を十分確認して行ってください。
 - ・ピットレーン出口(予選中はいつでも練習可能)
 - ・チェッカーフラッグを受けた後のヘアピンカーブ立ち上がり右側(詳細については以下の図を参照)

<図1 ピットレーン スタート練習エリア>



<図3 スタート練習位置看板>



<図2 ヘアピン立ち上がりスタート練習エリア>



<図4 スタート練習位置看板詳細>



2) 西コース短絡路、東コース短絡路の双方とも走行禁止です。

3) スペアマシンへの乗り換えはピット作業エリアで行ってください。サイティングラップ開始以降のピットボックス内での作業は、当該レースからリタイヤしたものと判断されます。サイティングラップ開始以降の全ての作業は、ピット作業エリアで行ってください。決勝レースにおけるピットボックスから作業エリアへのスペアマシンの移動は、サイティングラップ開始までに完了してください。

3. フラッグ・ライトパネルの運用について

1) ライトパネルは、フラッグの補助表示として使用します。

本大会ではイエローライト(シングル・ダブル)・グリーンライト・ブルーライト・レッドライト・赤ストライプ付黄旗・レッドクロスが主に運用されます。

2) RIDE THROUGH ボードはメインフラッグ台で提示されます、

オレンジボール旗、黒旗はメインフラッグ台、各ポストに設置されているライトパネルにてゼッケン番号とともに表示されます。

<図1 全ポスト オレンジボール旗提示イメージ>



<図2 全ポスト 黒旗提示イメージ>



4. 公式予選

- 1) レッカー車で回収した車両は、車検場脇 車両保管場所でピットクルーに引き渡します。

5. スタート方法について

- 1) サイティングラップを終えグリッドへ移動する際、グリッド後方の赤旗を持ったオフィシャルが立っている位置で一旦停止し、エンジンを切って、手押しでスターティンググリッドへ移動してください。その際、ライダーは乗車したまま、ピットクルーが押し歩くことは可能です。
- 2) グリッド上へは、ハンディタイプの電源(ジェネレーター・バッテリー等の蓄電式含む)のみ持ち込み可能です。
不備があるジェネレーター及びエンジンスターターは、オフィシャルの指示に従い速やかにグリッド上から撤去をしてください。
- 3) レーススタート時のレッドライトは5ユニットのみ使用します。
- 4) レッドライトが消灯された後でエンジンストールした場合、オフィシャルの指示があった時点でエンジン始動を試みる行為を中止し、指示に従ってマシンを速やかにコース外へ退出させてください。
- 5) 「RIDE THROUGH」ボードの提示は、コントロールライン(メインフラッグ台)と4.6番ポストの2箇所です。
- 6) スタート時トラブルが発生した場合、『START DELAYED』以下の処置がとられる。
 - ① スターティンググリッド以外に問題がないと判断した場合、MFJ 国内競技規則 付則 5 17-2-12-1 スタート方式に則り、スタート手順の再開が進行される。
 - ② 速やかなスタート手順の再開が難しいと判断された場合、フラッグ台で「ENGINE STOP」ボードを提示する場合があります。ボード提示以降、メカニックはグリッドへの立ち入りが認められ、すべてのライダーはマシンのエンジンを停止させ、ピット前作業エリアに戻される。その際、ピットボックス内の作業も認める。ただし、ピットボックス内に入れたマシンは再スタートのクイック・リスタート開始までにピット前作業エリアで待機する事。

6. 暫定表彰式について

- 1) 表彰対象車両は、メインストレート上車両保管場所にて車両保管します。
- 2) 上記以外の対象車両は、車検場横パークフェルメにて車両保管します。車両保管対象以外は、自ピットに戻ります。
- 3) 表彰式は、オーバルコース上ポードיוםにて行います。
- 4) 表彰式会場へはライダー本人およびチーム監督のみ入場可能です。

7. リアセーフティライトについて

- 1) 『ウェット宣言』時または、レースディレクションの指示があった場合は、リアセーフティライトを点灯させてください。
この場合ピットレーン出口にて、リアセーフティライトの点灯状態を確認します。
一旦停止し、オフィシャルの確認を受けてからコースインしてください。
- 2) 『ウェット宣言』に関わらず、リアセーフティライトは常時点灯させることもできます。

8. セーフティカーの運用について

- 1) 決勝レーススタート直後の一周目は10.5番ポスト横のピットレーン(東ピットレーン出口)からセーフティカーが介入します。
- 2) 上記以外の場合は、コントロールタワー前のピットレーンより介入します。